

みどりの会ジャガイモ収穫

7月29日（金）、町の農業後継者団体「みどりの会」（田村光平会長）が学校給食に提供するジャガイモの収穫を行いました。

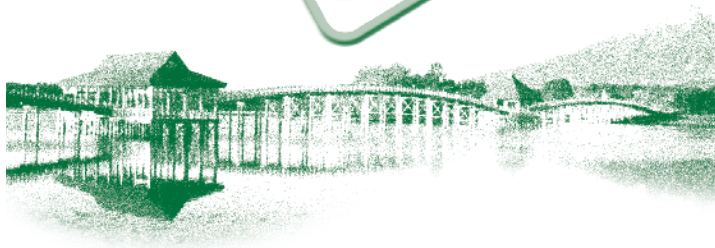
同会は子供たちに地産地消を意識してもらいたいと、毎年ジャガイモを育てて提供しています。この日は今年の4月に植え付けたジャガイモを会員と町の少年野球チーム「鶴田BBC」の6年生4人を加えた計20人で収穫作業を行いました。

収穫を体験した子供たちは「収穫作業は大変で疲れたけど楽しかった。早く食べてみたい」楽しげに話していました。

田村会長は「コロナ禍でイベント等が少なくなっているので、夏の思い出になってくれたならうれしい。今回は個人的なつながりで野球クラブの子供たちに声をかけたが、ほかの子供たちにも体験してもらいたい」と語っていました。



△ジャガイモを収穫した鶴田BBC 6年生の子供たち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

家族で花火を楽しんで

鶴田ライオンズクラブ（金山昭彦会長）は8月5日（金）、家族で夏を楽しんでもらいたいと、鶴田町内7カ所の幼稚園・保育所に花火セット約350人分を寄贈しました。

同クラブはコロナ禍で行動制限が多い中でも、家族で楽しく遊んでもらいたいと花火を寄贈。同クラブによる花火の寄贈は今回で3回目となります。

つるた乳幼児園（福澤紀子園長）で行われた贈呈式では、年長組の園児13人に金山会長が花火セットを手渡していました。

金山会長は園児らに「この花火で家族みんなで楽しんで思い出をつくってください」と話しました。福澤園長は「いただいた花火で子供たちにとって楽しい夏になると思います。ありがとうございます」と感謝を述べてました。



△金山会長から花火を受け取る園児たち

町の高校生が企画 河川敷ゴミ拾い

8月28日（日）、町民有志約20人が岩木川河川敷の清掃を行いました。

この活動は町の高校生川村羽美さんが企画したものです。参加者たちはゴミ袋と火ばさみを手に、役場裏側から鶴寿公園までの河川敷や歩道の清掃を行いました。



△岩木川河川敷を清掃する参加者たち

平和への祈り 町戦没者追悼式

終戦から77年を迎えた8月15日（月）、町国際交流会館において、令和4年度鶴田町戦没者追悼式の中止に伴う献花が挙行されました。献花には39人が訪れ、先の大戦で犠牲となった戦没者457人の冥福を祈り、平和な世界が続くことを祈念しました。



△訪れた人たちは戦没者の冥福を祈るとともに平和を祈念

とちぎ国体出場報告 活躍誓う

9月に栃木県で開催される「とちぎ国体」の水泳競技男子100mバタフライに県代表として出場する佐藤瑠威選手（弘前大学付属中3年）が相川町長に出場報告を行いました。国体では全国の高校生らとも競う佐藤選手は「年上の人たちと競う機会ができてありがたい。自己記録を更新したい」と大会への意気込みを語りました。



△国体での活躍を誓った佐藤選手（中央）

ブラスバンド東北大会出場

9月の東北吹奏楽コンクールに出場する「西北ジュニアウインドブラス」に所属する笹森すずさん（鶴田小6年）と葛西明菜さん（同4年）が相川町長に出場報告を行い、「メンバーと力を合わせて、きれいな演奏したいです」と意気込みを語りました。



△相川町長に出場報告した笹森さん（左）と葛西さん（中央）

地域おこし協力隊通信

Vol.49（筆：川口翔大）

8月20日（土）に鶴田町公民館で『鶴田と子供たちをつなぐワークショップ』の2回目を開催しました。今回は鶴田町で活躍されているアーティスト、サイトウパピコさんを講師にお招きしての開催でした。子供たちには、鶴田を拠点に様々な職業や活動で活躍している人たちに关わることで将来の選択肢を広げてもらいたいという想いがあります。そして、鶴田でもできるモデル、鶴田だからできるモデルもあるというのを知ってもらいたいですし、想像してもらいたいのです。そんな多様な人たちが活躍できる鶴田町はすごく素敵だと思っています。

今年度中に違う講師の方をお招きして、あと2回開催予定です。興味のある方はぜひ参加してみてください！



△講師として子供たちを指導するサイトウパピコさん

川口さんの SNS



Twitter



facebook

地域おこし協力隊の活動内容は、SNS・町ホームページでも確認することができます。